

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】令和7年3月6日(2025.3.6)

【国際公開番号】WO2024/204214  
 【出願番号】特願2024-559567(P2024-559567)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 7/023(2019.01)**

**B 3 2 B 27/00(2006.01)**

**B 3 2 B 3/30(2006.01)**

**E 0 4 F 15/02(2006.01)**

10

【F I】

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 27/00 E

B 3 2 B 3/30

E 0 4 F 15/02 A

E 0 4 F 15/02 C

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月7日(2024.10.7)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原反層と、前記原反層の一方の表面に設けられた表面保護層とを備え、

前記表面保護層の表面に、各々が畝状に突出した複数の畝状部を含んだ凹凸構造が設けられており、

30

前記表面保護層の断面における表面形状をフーリエ変換してなるパワースペクトルは、空間周波数が3000サイクル/mm以上3500サイクル/mm以下の区間におけるパワーの常用対数の平均値  $\log P f_{3000-3500}$  に対する、空間周波数が500サイクル/mm以上1000サイクル/mm以下の区間におけるパワーの常用対数の平均値  $\log P f_{500-1000}$  のパワー比  $x$  が、4.0乃至13.5の範囲内にあり、

前記表面保護層の光沢度は、10未満である化粧シート。

【請求項2】

前記表面保護層は、樹脂の硬化物と粒子とを含み、前記粒子は、前記樹脂100質量部に対して2質量部以上13質量部以下の量で前記表面保護層に含まれる請求項1に記載の化粧シート。

40

【請求項3】

前記樹脂は、電離放射線硬化性樹脂である請求項2に記載の化粧シート。

【請求項4】

前記樹脂は、アクリレートである請求項2に記載の化粧シート。

【請求項5】

前記樹脂は、繰り返し構造を含む3官能アクリレートであり、前記繰り返し構造の繰り返し回数は、6個以上20個以下である請求項2に記載の化粧シート。

【請求項6】

絵柄層を前記原反層と前記表面保護層との間に更に備えた請求項1に記載の化粧シート

50

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の化粧シートと、  
前記化粧シートが貼り付けられた基材と  
を備えた化粧材。

10

20

30

40

50